

(6) 木曽地域 ～ 未来につながる木曽の豊かな農業・農村と食 ～

■ 達成指標

重点 取組	達成指標	現状 (2021(R3)年)	計画 (2025(R7)年)	実績 (2025(R7)年)	目標 (2027(R9)年)
1	「地域計画」の策定数	0	22	22	22
	新規就農者数(49歳以下)	3人/年	2人/年	1人/年	2人/年
2	米の1等米比率	78.9%	85%	58.9%	85%
	「御嶽はくさい®」栽培面積	50ha	47ha	43ha	45ha
	「木曽子牛」出荷頭数	5.7頭/戸	5.95頭/戸	6.5頭/戸	6.0頭/戸
	花き・花木類の栽培面積	2.3ha	2.4ha	2.3ha	2.4ha
3	野生鳥獣による農作物被害額	12.8百万円	12.1百万円	9.2百万円	11.8百万円
	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	493ha	489ha	462ha	489ha
	農業用水を活用した小水力発電の設備容量	34.4kw	366kw	366kw	366kw
4	伝統食材提供店舗数(木曽牛、すんき、木曽産そば)	57店	59店	59店	60店
	伝統野菜の栽培面積(王滝無など7品種)	2.1ha	2.1ha	1.8ha	2.1ha

重点取組 1：多様な担い手が支えあう木曽の農業・農村

○新規就農者の確保及び育成と地域への定着を支援

- ・新規就農者の受入体制を整備するため、就農連絡会を開催(1回、14人)、就農相談を実施(11回、8人)
- ・高校生の就農への意欲高揚を図るため、青峰高等学校でセミナー等を開催(4回、36人)
- ・新規就農者の経営開始支援(経営開始型・経営開始資金3名)



○農業農村をけん引する担い手を育成

【農業入門講座】

- ・農業知識を習得するため、農業入門講座を開催(8回8人)簿記講座(3回6人)
- ・課題解決能力向上を図るため、カイゼン手法導入へ誘導(1団体)
- ・農村女性の活躍の場を増やすため、研修会を開催(2回、37人)
- ・地域計画の実現に向けた農地の最適化(農地利用最適化活動 6町村)

重点取組 2：木曽ブランドを支える産地づくり(土地利用作物、園芸品目、畜産振興)

○新たな品目導入による産地の活性化を支援(重点活動)

- ・酒米の生産拡大と生産者を確保するため、酒蔵と生産者を交えた中間検討会を開催(1回、32人)、酒米新系統の導入検討の試験ほを設置(1か所、情報共有2回)
- ・啓翁桜の適期出荷による生産振興を図るため、ふかし技術を提案(2回、10人)、新規花木の生産拡大と生産者を確保するため、現地検討会を開催(1回、19人)



【酒米中間検討会】

○「御嶽はくさい®」のブランド維持を支援

- ・木曽に適した品種を選定するため、調査ほ場を設置（1か所、情報共有2回）
- ・経営コスト削減を図るため、土壌診断に基づく施肥試験を実施（1か所、情報共有3回）
- ・安定生産を図るため、排水不良対策を提案（情報提供1回）



○木曽ならではの農産物生産を支援

【開田高原はくさい減肥試験】

- ・（野菜）軽量園芸品目の生産振興を図るため、個別指導を実施（各10回、2人）
- ・（花き）切り花の生産振興を図るため、仕立て指導会を開催（2回、10人）
- ・（果樹）ブルーベリー生産安定を図るため、病害防除を指導（2回、2人）
- ・（水稻）1等米比率を高めるため、病虫害防除指導会を開催（3回、378人）
単収向上を図るため、適期追肥を指導（2回、370人）
- ・（畜産）家畜の長命連産を目的とした飼養管理の改善を提案（6戸）
自給飼料の生産拡大を図るため、現地指導会を開催（1回、20人）
特定家畜伝染病の発生に備えた体制整備と意識を統一（10月、1回）

重点取組3：みんなが生き生き暮らせる、持続可能な農村づくり

○地域の関係者の合意形成により地域の将来を明確化した「地域計画」の実践を支援

- ・地域をけん引する担い手を育成するため、営農相談を実施（2件）
- ・地域計画の目標を達成するため、地域懇談会の開催を支援（6町村）

○野生鳥獣被害対策を推進

- ・適切な防止対策を啓発するため、侵入防止柵の点検指導会を開催（1回、10か所）、鳥獣被害防止対策交付金事業を活用した対策の推進（6地域協議会）



○耕作放棄地の解消を支援

- ・そばの作付拡大を推進するため、現地指導会を開催（2回、36人）

○環境にやさしい農業の推進を支援

【電気柵研修会】

- ・みどり戦略の意識高揚を図るため、環境に負荷をかけない取組を啓発（5回、20人）

○多面的機能支払及び中山間直接支払事業による集落維持活動等の推進

- ・取り組み組織数の維持及び活動の支援（多面20組織、中山間57組織）
⇒6月7日に中信地域管内の多面的機能支払事業担当者会議を開催
なお、課内に多面的機能支払事業相談窓口を常時開設中
- ・多面的機能支払事業の事務手続き研修会、水路等の維持補修に関する講習会の開催
⇒事務手続きに関する研修会、水路等の維持補修に関する講習会等の開催（2回）
上記研修会及び講習会を、南木曽町（4組織）で開催（10月）

○農業用水を活用した小水力発電施設の整備推進及び技術的支援

- ・管理運営方法等研修会への参加と各種調整における技術的な支援
⇒小学生を対象に小水力発電施設見学会を開催（11月6日 南木曽小学校4年生）
図上における適地調査を木祖村他1箇所で実施（11月～3月）

重点取組4：木曽ならではの食による地産地消と食育の推進

○食育の支援

- ・子ども達の地域の農畜産物への理解を深めるため、小中学校を対象とした食育授業を実施（伝統野菜2校、木曽牛4校）

○伝統野菜の生産を支援

- ・伝統野菜の生産安定を図るため、栽培指導会を開催（1回、8人）



【木曽牛給食の日】